

県建築構造設計事務所協会総会

新会長に鎌田氏



鎌田次雄新会長

成果と魅力ある構造設計事務所の構築を目指す



新年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のよかセンター鹿児島で

「情報、技術を共有し、美しい建物を創造する」をスローガンとする新年度事業計画等を決めた。また、任期満了に伴う役員改選では新会長に鎌田次雄氏（南鎌田建築構造設計事務所）を選出した。

「情報、技術を共有し、美しい建物を創造する」をスローガンとする新年度事業計画等を決めた。また、任期満了に伴う役員改選では新会長に鎌田次雄氏（南鎌田建築構造設計事務所）を選出した。

引き続き、久保満氏（久保建築設計）を議長に選出し、議事に移り、18年度事業・収支決算報告、19年度会長方針案および事業計画案などを審議した結果、原案通りすべて可決承認。また、役員改選では、新会長に鎌田氏、新副会長に立元和男氏（立元建築事務所）、白坂哲也氏（南リソー・エンジニアーズ）を選出した。鎌田新会長は「これから2年間、皆さまの協力をいただきながら各種事業を積極的に進め、責任を担っていく」と決意を述べた。

新年度事業計画は、①限界状態設計についての研修②現場見学会の開催③既存木造建物の耐震性能の向上を図るための研究および技術研修④新しい耐震技術の研修習得⑤法改正に伴う新制度（構造計算適合性判定等）への支援など。

新役員は次の通り。
会長＝鎌田次雄▽副会長＝立元和男 白坂哲也▽理事＝久保満（久保建築設計）桑原耕（南桑原構造設計）木場正人（南鹿建築設計）茶園次春（南茶園建築設計）西村昭一（南ウィル・デザイン）森明（南ヒューマンクリエイト設計）▽監事＝市来泰之（サン企画）新村康宏（新村設計構造事務所）▽顧問＝皆川洋一（鹿島建設）



熱心に聴講する参加者＝鹿児島市の県建設センターで

解体工事施工技士登録更新講習
参加180人が一層の社会貢献を全解工連

全国解体工事業団体連（治会長）は9日、鹿児島市（全解工連、中橋博）市の県建設センターで18年度（第9回）解体工事施工技士登録更新講習を開いた。当日は、会員ら約180人が参加。建設リサイクル法や関係法令の最新情報、労働災害防止対策等について学んだ。

会の冒頭、江藤正幸県

建造物解体業連合会会長が「解体工事は、都市づくり、住宅環境整備等には欠かせない仕事。近年の工事は複雑化・大型化しており、専門的な知識が要求されている。今回の講習を通じて、業界に求められている専門性・最新の情報・高いレベルの技術力を習得し、事業を通じてより一層の社会貢献を」などと挨拶。

引き続き、全解工連の中橋会長が「建設リサイクル法および関係法令等の最新情報」、出野政雄専務理事が「災害防止対策および解体工事共通仕様書」、建設業労働災害防止協会の青木義政安全管理士が「安全衛生管理」についてそれぞれ講習を行った。このうち、出野

県、電子入札システム説明会(物品・役務)

Vistaへの質問も

専務理事は、建設リサイクル法や廃棄物処理法などについて、法令の基礎知識、資源循環型社会の形成推進など分かりやすく解説し、受講者はテキ



9日、鹿児島市の県庁で開かれた。参加者は、県が来年度試行する電子入札の概要や指名から開札までの流れ、システムの操作方法等について理解を深めた。

午前、午後

の2回に分けて行われた説明会には、関係者約800人が参加。県技術管理課の森脇寛透土木技師が電子入札導入のメリットやシステムの概要、必要となるICカード等について説明した。

システムの操作方法等については、開発を担当した鹿児島県頭脳センターの担当者らが操作画面のサンプルを使って解説。指名通知書の発行から入札・内訳書の提出、落札決定通知までの流れを説明した。

明したほか、利用開始までの事前準備として、電子証明書（ICカード）の購入やコアシスシステムに導入する電子認証局等についても触れた。

物品・役務については、県では「Vista」に代わって現在のところ未対応だが、将来的には対応できるようにシステムを整備していく予定」と回答した。

電子入札・電子納品等説明会

メリットなど学ぶ

県建設業協会支部



県が19年度から一部運用開始する電子入札・納品等の説明会が9日、西之表市の種子島建設会館で開かれ、県建設業協会支部種子島支部（藤田護支部長）から会員48人が参加。本県の電子入札や納品のスケジュール、

県が19年度から一部運用開始する電子入札・納品等の説明会が9日、西之表市の種子島建設会館で開かれ、県建設業協会支部種子島支部（藤田護支部長）から会員48人が参加。本県の電子入札や納品のスケジュール、

説明会では、県土木技師管理課の田中寛技術主幹兼積算管理係長と県建設技術センター企画研究課の中島照美氏が、19年度から試行・一部運用が開始される県の電子入札・納品について、メリットやスケジュール、概要・特徴のほか、最低限必要となる機材・環境などについて分かりやすく説明した。参加者らは、メモを取るなど熱心に聴講していた。

今回の説明会について川畑雅美事務局長は「当支部としても遅れをとるわけにはいかない。会員の意識も強く、全員真剣に学んでいた」と本格的な電子入札への移行に

霧島プレカット工場が落成

地元木材の活性化に

図南木材



島プレカット工場落成式「写真」が8日、霧島市の現地で開かれ、関係者約80人が参加して落成を祝った。

同工場の建設は、昨年5月に霧島市と立地協定を締結し、霧島市分郡田381-1-1の旧鉄工場を利用して建設された。計画では、年間加工量1000坪を生産し、地元木材の活性化を図る。

落成式では、田之頭社長が「関係者のご協力でここに落成できたことに感謝いたします。今後、国産材、県産材の活性化が図れるよう努力していきたい」と述べた。また、霧島市の前田終止市長も「さらなる成長を祈念いたします」とあいさつした。

た。県では「Vista」に代わって現在のところ未対応だが、将来的には対応できるようにシステムを整備していく予定」と回答した。